

広報くのへ

4

Apr.2025

vol.805



閉校の先へ

令和7年3月、戸田小学校、山根小学校、伊保内小学校、長興寺小学校、江刺家小学校が閉校し、4月から5つの小学校が統合した「九戸村立九戸小学校」が新設されます。

この特集では、これまでの歩みを振り返り、これからの未来を見つめます。



3月12日に戸田小学校で行われた卒業式後の1コマ

涙と笑顔の卒業式

3月、村内5つの小学校が長い歴史で最後となる卒業式を迎えました。学校職員や保護者、下級生に見守られる中、式は行われ、担任の先生に呼名されると卒業生は大きな声で返事をし、卒業証書を受け取りました。式では、各校の校長がお祝いのメッセージと大切にしてほしい教訓など、卒業生へ最後のはなむけの言葉を贈りました。

卒業生による門出の言葉では、これまでお世話になった方々への感謝の気持ちを伝え、次のステージに進むことを強く決意しました。ホームルームでは担任の先生から最後のお話があり、卒業生たちは恩師の言葉や学び舎との別れに涙する姿や、仲間と一緒に卒業する喜びで笑顔になる姿が見られました。



伊保内小学校
令和6年度卒業生
中村 大空さん

身につけた力を次の道で

伊保内小学校としての最後の1年は、6年生が中心となって、学校を盛り上げていけるよう頑張りました。特に、学習発表会で、全校児童全員で「花さき山」の発表が出来たことは、強く思い出に残っています。

たくさんを経験し、学ばせてもらった伊保内小学校には、感謝の気持ちでいっぱいです。伊保内小学校での思い出を忘れずに、身に付けた力をさらに伸ばして、九戸中学校でも頑張っていきたいです。



山根小学校
令和6年度卒業生
田澤 歩夢さん

家族と地域への感謝

正直、山根小学校が閉校すると聞いて「なんで？」というのが率直な気持ちでした。最後の1年は短く感じ、最初は寂しいという思いもありましたが、「自分ができることを取り組もう」と切り替えました。特に去年行った学習発表会の劇「山根の宝」では、見てくれている方々に山根小学校の歴史やこれまでの感謝を伝えることが出来

ました。全校12人でしたが、全校での交流が多く、また地域の方々を招いてのイベントが思い出に残っています。家族や地域の方にはこれまで支えてくれてありがとうございますと伝えたいです。山根小学校で活動してきたように、4月から中学校では、執行部に入り、先輩方と協力して活動していきたいです。



心からの ありがとう

子どもたちの「日常」と「思い出」
を切り取りました。学校での何気ない
毎日は、真剣に授業に取り組んだり、
友達と笑い合ったり、どれも大切
な思い出。それぞれの学校に沢山の
思い出が詰まっています。



小学校閉校式・閉校記念式典

5つの歴史に幕を閉じる

村の雪も解けはじめ、少しずつ春の訪れを感じる3月、村内それぞれの小学校で閉校式が執り行われ、全校児童、保護者、教職員、地域住民、卒業生など多くの関係者が出席しました。九戸村教育委員会高橋良一教育長は「地域の拠点である各小学校の閉校は地域の皆様にとって誠に辛いことと存じます。各校を守り育ててきたのは地域の皆様の熱意と努力のたまものであり、子供たちの成長と学校の発展にご尽力された教職員各位をはじめ保護者や地域のみなさま方に深い感謝とともに心より敬意を表します」と話しました。各校の式では、校長から大久保村長へ校旗が返納され、その後、出席者全員で校歌斉唱をし、力強い歌声が体育館いっぱいに響き渡りました。式の後には、それぞれの学校で閉校記念式典が行われ、感謝状贈呈や記念碑披露、児童発表がありました。母校での思い出を振り返り、感謝の気持ちを表す子どもたちの姿に、出席者は惜別の念を抱きながら5つの小学校の長年に及ぶ歴史に幕を閉じました。



山根小学校

3月19日、山根小学校（佐瀬智洋校長、児童12人）の閉校式が行われ、約110人の出席がありました。

式中、佐瀬校長が「これからもかけがえのない財産、山根の宝物を胸に、子どもたちの次の世代、さらに次の世代へ繋いでくれることを信じております」と話しました。

その後、感謝状贈呈や児童による川柳の発表がありました。また閉校記念碑除幕式も行われ、村長率いる代表者と全校児童で除幕をおこない、最後には児童がシャボン玉を飛ばし地域の方々に見守られながら山根小150年の歴史に幕を閉じました。

1_校旗返納 2_閉校記念式典では歴代校長・歴代PTA会長に感謝状が贈られました 3_閉校記念碑除幕式での記念碑の除幕 4_同じく除幕式では児童がシャボン玉を飛ばし、記念碑と子どもたちがキレイなシャボン玉に包まれました



戸田小学校

3月20日、146年の歴史を誇る戸田小学校（佐々木伸也校長、児童29人）の閉校式が行われ、約184人の出席がありました。

式では佐々木校長が「稲作体験、水質環境調査、きのこ栽培・収穫、南部箒づくり、かんじき体験など、数々の体験は子どもたちの心に、どれだけ楽しく豊かな思い出として刻まれてきたことでしょうか」と地域や保護者への感謝を述べました。

閉校式後は、感謝状贈呈式や、ありがとう集会での児童発表、記念動画を上映し出席者全員で戸田小の思い出を振り返りました。

1_校旗返納の様子 2_ありがとう集会での児童発表 3_同じく集会の様子。最後に会場にいる全員がガーベラの花を持ち「花は咲く」の合唱をしました 4_記念碑除幕式。除幕後は児童たちがクラッカーで最後の時を彩りました



伊保内小学校

3月8日、150年の歴史の節目に伊保内小学校（尾崎尚子校長、児童95人）の閉校式が行われ、約254人の出席がありました。

式では尾崎校長が「伊保内小学校に関わった誰もの心の中で、輝き続けている伊保内小。大切なものがたくさん詰まっている伊保内小をいつまでも心の中で輝かせながら将来の九戸村、岩手県、世界で活躍していくことを確信しています」とあいさつしました。その後、尾崎校長から大久保勝彦村長へ校旗が返納されました。式の後には、閉校記念式典が行われ、惜しまれながら伊保内小の歴史に幕を下ろしました。

1_校旗が返納される様子 2_会場にいる出席者全員で伊保内小学校の校歌を歌い切りました 3_閉校記念式典での記念碑披露 4_同じく式典での児童発表を見守る保護者や出席者。お別れのことばや合唱に涙を流す方もおられました



それぞれの思い



新5年生（戸田小出身）
小宮 芽唯さん

たくさんの思い出が詰まった場所

閉校する今、悲しさとわくわくする気持ちがあります。

戸田小学校は、かんじき体験やきのこ栽培など珍しい活動がありそれが出来なくなるのは少し寂しいです。でも九戸小学校へ行ったら、人数が増えて友達もたくさんできることが楽しみです。

私が戸田小学校で一番好きな場所は、たくさんの思い出がある校庭と体育館で

す。「ぐんぐんタイム」という体力作りの時間に、マラソンや縄跳びを頑張りました。他にも、全校や縦割り班で遊んだ事もあります。学年関係なく仲良く遊べるところが好きでした。最後の日まで、校庭と体育館で思いっきり遊びたいです。

4月からは高学年として新しい学校のみなを引っ張っていけるように頑張ります。

長興寺小学校では図書委員会として活動したことが思い出に残っています。校内放送する「本の紹介」では感情を込めて紹介し、聞いた人たちから拍手を貰えたから「もっと頑張ろう」と思えました。大好きな担任の先生は、私のいいところを見つけてそれを認めてくれるので、自分に自信をつけてくれました。

長興寺小学校が好きだから、閉校すると聞いて不安な気持ちになったけど、最後の1年は統合に向けて挨拶や授業での挙手を積極的にするなど自分なりに頑張りました。学校同士の交流会でも、新しい友達が出来て、九戸小学校へ行くことが楽しみになったし、春からは最高学年として学校を引っ張っていきたいと思います。



新6年生（長興寺小出身）
小田野 奏人さん

自信を付けてくれた長興寺小

長興寺小学校

3月18日、149年の歴史の長興寺小学校（女鹿芳文校長、児童30人）の閉校式が行われ、約170人が出席しました。

女鹿校長は、「子どもたちのためなら惜しみなく力を貸していただけの地域に感謝。歴史や学びが受け継がれ、新たな希望にみちた未来となることをかたく信じている」と涙ぐみながら挨拶しました。

式後に行われた感謝と旅立ちの会では、動画を鑑賞し出席者にインタビューしたり、政実剣舞を披露するなどして出席者を楽しませ、最後には出席者全員で集合記念写真を撮りました。

1_女鹿校長から大久保村長へ校旗が返納されました 2_これまでの思い出を懐かしむ卒業生 3_感謝と旅立ちの会。歴代の校長先生やPTA会長に児童がインタビューし、当時の思い出を振り返ってもらいました 4_全員での記念撮影



江刺家小学校

3月19日、149年の歴史を積み重ねてきた江刺家小学校（高橋雄賢校長、児童29人）の閉校式が行われ、約130人の出席がありました。

高橋校長は「豊かな自然を生かした総合的な学習では江刺家神楽の伝承活動や稲作体験など、大きな学びの場となった。地域や保護者一体となって取り組んだ行事は子どもたちの心に刻まれている」と振り返りました。

式の後には、出席者全員が見守るなかでの記念碑除幕式が行われるとともに、思い出を語る会では江刺家小児童による最後の江刺家神楽の演舞が披露され、地域の方々に惜しまれながら最後の時を過ごしました。

1_校旗返納の様子 2_最後の校歌を元気に歌い、体育館いっぱいに歌声が響き渡りました 3_閉校記念碑除幕式、代表の方々と除幕をしました 4_思い出を語る会では地域の方々へ感謝を込めて全校で江刺家神楽の演舞を披露しました





2月25日伊保内小学校体育館で行われた「九戸小学校校歌を歌う会」

閉校の先に

各校の閉校式に際して高橋良一教育長は次のように述べました。「この統合は、児童数が減少するなかで、子供たちによりよい環境を提供することを目的に行われたものです。児童の皆さんが新しい九戸小学校で、多くの新しい友人と出会い、豊かな情操、深い知識、教養を身に付けるとともに、培われた郷土愛を、大いにいかされることを期待します」。

現代社会を取り巻く人口減少・少子高齢化問題はここ九戸村でも例外ではなく、その中で、子どもたちにとってより良い学習環境とは何か、地域とどう繋がりを持ち続けていくかといったことについて考え続けなければなりません。長い歴史を積み重ね、地域から愛され、無くてはならない存在となっていた戸田小学校・山根小学

委員として関わってきました。前回は大変残念でしたが、やはりあの時から各学校の状況と村の子どもたちの未来を考えれば統合は急務でしたし、多数の保護者の願いでもありました。何より1番は九戸村の子ども一人ひとりが沢山のクラスメイトと共に学び、遊び、社会性を育てていくことが大事だと思います。

各小学校が今まで作り上げてきた歴史が終わってしまうのは残念ですが、これから新たに子どもたちが新しい歴史を作っていくことができますので、各地区の皆さまはこれまでと変わらずに

子どもたちの成長を見守り、活動等へのご協力をお願いいたします。

4月からの開校となり、日程が限られているため完璧なスタートは切れないかと思えますし、開校してからも様々課題等も出てくるかと思えます。PTAも同様で、ほぼ1からのスタートとなり、数年かけて作り上げていくことになると思います。いずれにせよ、子ども・保護者・先生・地域の方と力を合わせて、1つずつ作り上げていけたらと思います。統合に携わった者として、また、1人の親として、九戸小学校をよろしく願います。



伊保内小学校 PTA 会長
吉田 一幸さん

子どもたちが新たに 作り上げる歴史

いよいよ4月から、統合校「九戸小学校」がスタートします。この統合に至るまで本当に長い年月と紆余曲折がありました。私は今回、そして1度目の統合に

5つの小学校（戸田小・山根小・伊保内小・長興寺小・江刺家小）それぞれの沿革を辿りますと、それぞれの歴史を紡いできたことが分かります。その歴史が小学校閉校によって、全てがゼロになるわけではありません。5つの小学校で培われてきた力を基盤（ベース）としながら、より一層【高め合う 関わり合う

鍛え合う】児童になって欲しいという強い思いから、これら三つの言葉を九戸小学校の教育目標と致しました。今までの少人数・複式学級ではなかなか叶わなかった姿を体現できると考えました。児童一人一人が大切に認められ、生き生きと活動し、笑顔が弾ける県内一の学校となりますことを願っております。



九戸村統合準備委員会
委員長 高橋 雄賢さん
(元江刺家小学校校長)

各小学校閉校、そして 統合校「九戸小学校」へ

校・伊保内小学校・長興寺小学校・江刺家小学校。その5つの小学校が閉校することは子どもたちや地域住民にとって、とても寂しいことです。しかし、その小学校で共に過ごした思い出は、皆さんの心にいつまでも残り続けています。統合に向けて行われた、村内5校全校が一堂に会し歌った「九戸小学校校歌を歌う会」。九戸小学校の最初の1ページを刻む児童らによる斉唱は、初めて合わせたとは思えないほど圧巻であり、これまで築いてきた各小学校の伝統や精神が込められているように感じました。

5校の閉校の先には九戸小学校の歴史の始まりがあります。5つの思いが引き継がれ、九戸小学校として新たな歴史を作り、大きく成長してくれることでしょう。明るい未来に向かって。

対話と信頼・納得と共感の村づくり

令和7年度施政方針演述

第1回村議会定例会は3月3日から3月14日までの10日間、議事本会議場で開かれました。大久保勝彦村長は、村づくり全般にわたる基本的な考えと主な施策を明らかにしました。ここでは、村長の施政方針演述の概要をお伝えします。

総合発展計画を推進し、
夢と希望のある九戸村へ



議場での大久保村長

■はじめに
本村は、三カ村が合併して令和7年度で70周年を迎えます。4月には村内5つの小学校が統合され、九戸村立九戸小学校が開校となり、村の教育環境をはじめとして、地域の姿が大きく変化する節目の年となります。新年度は新たな時代につながる節目の年度として、村政を進めていく決意でございます。
本村は少子高齢化、人口減少が進む中で、支える側の生産年齢人口は減少し、支えられる側が増加しており、村の様々な事業や行政サービスの実施に必要な財源の確保が課題となっております。このことから、村の現状把握と将来の見通しなどの調査・分析を行い、行政のみならず、村民の皆様とともに計画性をもった村づくりを進めていかなければならないと考えております。

令和7年度は、小学校統合後における小・中学校の再編に向けた教育環境の整備や子育て支援、保健福祉施策の充実、村の基幹産業である農林業の振興など、村政課題の優先順位を整理しながら、課題解決に向けて迅速かつ柔軟に取り組んでまいります。

①「交流・発信」
「市日にぎわいまつり事業」や「集客促進事業」などを実施しており今後も継続することで、関係人口の定着を図ります。
「地球のしごと大賞九戸キャンパス」では、年間14の体験プログラムを実施し、村内外から延べ138名の参加をいただき、農林業体験など九戸村の魅力を実験していただきました。来年度も、九戸村商工会をはじめ各種団体等にご協力をいただきながら、集客・交流促進を図ります。
地域おこし協力隊に関しては令和3年度から募集を行っており、

現在12名の隊員が所属しております。新年度においても協力隊の募集を実施しており、新たな協力隊員が加わるとともに、引き続き九戸村の情報発信やイベントの開催、伝統工芸や食文化の伝承・普及など、村内の活性化に向け、活発な活動を期待しています。



▲木工女子部でも活動している協力隊OG上野さん④と福島さん⑤

②「産業雇用」
オドデ館については、リニューアル以降、順調な売り上げを記録していますが、物価高騰の影響を受けまして、実質的な利益は減少傾向にあります。レストランにおいては、コロナ禍以降も集客数は戻らず厳しい経営状況が続いています。そのような

なかで、甘茶事業部門では、岩手県生物工学研究センターの研究論文で「コロナウイルス感染症の防止効果がある」との検証データが、発表された令和5年9月以降は、取引注文が多くあり、注文に十分に応えられない状況が続いていますが、買い入れ価格の引き上げや、生産技術指導継続実施により生産面積の拡大に努めていきます。
・総合公社の経営については、経営戦略の見直しが必要と考えており、経営人材の確保・育成に努め、経営強化に努めます。
・農業振興については、将来における効率的かつ総合的な農地利用の目標等を盛り込んだ「地域計画」を令和6年度3月に策定し、新たな担い手の確保・育成や農地の有効活用を推進するべく村として体制の強化に努めます。
・ナインズファームにおいては令和7年度に独立化を進め、従

来の担い手育成を軸としながら、現在の九戸村の農業課題に取り組んでいく組織体制を構築していきます。
・持続可能な農業基盤の整備のため、国県の事業導入や村単独基盤整備事業を継続し、農業の生産力強化や農村地域の維持・保全を、農業者の負担軽減を図りながら進めていきます。
・畜産振興については、「経営支援対策事業助成金」を実施していますが、今後も価格高騰が続くと予想されるため、畜産農家の安定した経営体質の造成を推進するべく、粗飼料自給率を高めるための草地更新助成や、自給飼料のラップピニールの廃棄費用に対する助成といった取り組みを実施していきます。
・林業振興については、森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度に基づく森林整備に加え、人材育成・担い手の確保、木材利用の促進を図ります。

・自伐型林業の推進として、地域おこし協力隊を中心とした環境保全型の森林整備の普及啓発を継続して図ると共に、協力隊卒業後は、本村において自伐型林業経営体として定着・定住できるよう、適切な支援を行います。
・「木の駅」においては、村内の私有林の整備及び木質バイオマスエネルギーの地産地消に繋がっているところであり、今後もこの取り組みを継続・発展させ、環境保全型の美しい森林づくりの推進を図ります。
・高齢世帯への配食サービス事業や、まさぎねクーポン配付事業、農林商工業者の燃油高騰対策助成事業、農林商工業者の経営改善助成事業など、地場産業の振興に向けた支援を継続します。
③「住宅・環境」
・村営住宅については、入居希望者が減少傾向にあるため、入居要件の見直しや、目的外使用許可に係る利用についても検討します。

- ・環境保全につきましては、「九戸村環境美化推進条例」に基づき、快適で住みよい生活環境の創造及び循環型社会の形成に取り組みを進めます。
- ・通年で回収できるリサイクルステーションの利用促進を図り、分別への意識の向上と「リデュース・リユース・リサイクル」という3R運動の定着を目指します。
- ・ごみの総重量の約4割を占める生ごみを減量するため、生ごみ電動処理機とコンポストへの助成制度を継続実施していきます。

④「子育て・教育」

- ・「九戸村の未来につなぐ基本条例」の趣旨に基づき、「未来結び祝い金」や「すくすく赤ちゃん祝い金」といった各種祝金のほか、出産費用助成、医療費助成、学校給食費の無料化の実施を継続、村独自の九戸村こども手当については、支給時期を「保育園卒園時」、「小学校卒業時」、「中学校卒業時」の計3回に変更するなど、切れ目のない

- 子育てに関する施策を展開します。
- ・保育園については村内の園児の減少や保育体制の見直しのため、令和7年度から戸田保育園を休園することとし、今後においても村内の園児の状況や保育体制を勘案しながら、適切な保育園の運営に努めます。
- ・妊娠検査への助成や、出産子育て応援給付金とあわせた伴走型子育て支援に取り組むことで、出産時や子育てに対する不安等の解消と、子育てしやすい環境づくりに努めます。
- ・県立伊保内高校の存続に向けては、令和6年度に33名が入学し、令和7年度においても岩手県が募集停止の基準としている20名を超える見込みであり、「地域みらい留学」による入学希望者も見込まれています。来年度においても制服代の全額助成、通学バス助成、郷土芸能委員会などの課外活動支援、「伊高むらおこ

- り、今後もこれを継続します。
- ・村内循環バスの大半を廃止し導入したデマンド型交通のさらなる利便性の向上に努めます。

⑥「安全・安心」

- ・防災情報の伝達手段については、希望する家庭に防災行政無線戸別受信機を貸与することを継続し、スマートフォンアプリのラインを活用した防災情報一斉送信システムの運用を併せて行っています。
- ・消防団の団員確保と待遇改善のため、令和5年度に引き上げた団員報酬及び出勤報酬については、引き続き継続するとともに、消防車両等の消防資機材については、適切な時期に更新し、防災力の強化、維持に努めます。
- ・消防団員を対象として、大型重機の運転免許や操縦資格に対する助成制度の新設を検討しています。
- ・交通安全の確保については、関係機関・団体等と協力しながら交通安全の啓発活動や各種安全対策を講じており、今後も交通死亡事

⑦「生活インフラ」

- 故ゼロと飲酒運転根絶に向けた取り組みを強化していきます。
- ・村内の一般家庭住宅を対象とした家庭用の防犯カメラ等の設置に対する補助制度の新設を検討します。
- ・令和7年度の村道整備については、改良舗装工事4路線、舗装修繕工事1路線、法面工事2路線、橋梁整備としまして、補修工事2橋を計画しています。
- ・村道維持工事については、舗装面の段差解消工事、側溝等排水施設の修繕工事、センターライン等の安全施設設置工事を行うなど、安全・安心の確保に努めます。
- ・下水道事業等については令和6年4月1日から九戸村下水道事業として、公営企業会計に移行し、令和7年度において「九戸村下水道経営戦略」の見直しを実施します。
- ・下水道施設については「九戸村

- し会社」の活動支援といった伊保内高校の魅力化事業を推進し、入学者の確保に努めます。

⑤「保健・福祉」

- ・新型コロナウイルスのワクチン接種については、有料個別接種となったことから、インフルエンザワクチンと同様の接種助成を実施しており、新年度においても、国の施策に応じてワクチン接種助成を行い、接種者の負担軽減を図ります。
- ・乳がんなどの女性検診において、令和6年度からは受診機会を毎年に変更し、さらに検診個人負担金の引き下げを行っており、引き続き早期発見、早期治療につながる取り組みを継続します。
- ・地域保健医療の確保対策としては、九戸地域診療センターの常勤医の維持及び増員、専門医の定期派遣の拡充、病床復活等を引き続き要望していきます。
- ・認知症等の通院については、県立一戸病院への通院の需要も多い

- ストックマネジメント計画」に基づき、令和6年度から令和10年度にかけて、修繕及び更新工事を計画的に実施する方針です。
- ・下水道処理区域外については、合併処理浄化槽の設置者に対し、国・県補助金に村単独費を嵩上げて交付しています。
- ・上水道事業については、九戸村上水道事業経営戦略」に基づき、施設設備等を計画的に修繕・更新していきます。
- ・宇堂口水源の水質対策として、膜ろ過施設整備工事に令和6年度着手し、令和7年度に完了する予定です。
- ・水道未普及地域対策については、工事等に対する村の補助金制度の随時見直しを図るなど、良質な飲料水確保に努めます。

⑧「地域コミュニティ」

- ・地域課題の解決や地域活性化を目的とした事業のほか、概ね10年以内の継続事業及び地域の負担に備えた基金積み立てなどに活用

- ことから、タクシー利用助成を継続します。
- ・「福祉事務所未設置町村による相談事業」として、相談支援事業を実施し日常生活に対する支援を行います。
- ・高齢者福祉については、高齢者の社会参加の促進を図るため、有償ボランティア「ご近所すけっ隊」の活動や地域サロン運営に向け、活動拠点である「ほずのいえ」を中心に、居場所づくりを支援していきます。
- ・障がい者福祉については「つくし相談支援事業所」に相談事業を委託し、必要な支援を行うとともに同事業所と連携強化を図ってお



▲令和6年5月から運行を開始したAIデマンド交通「まさざねGO」

⑨「住民協働・行政改革」

- ・「移動村長室」と称した懇談の場を設け、行政として対応できるものについては、早期に行政運営に反映させていきます。



▲令和6年度は村内6カ所で移動村長室を開催

- ・役場業務の推進に当たっては民間企業の研修も取り入れ、住民の皆様から信頼される九戸村役場となるよう努めます。

令和7年度教育行政施政方針演説

九戸村教育長 高橋 良一

村議会定例会で、高橋良一教育長が令和7年度の教育行政推進の基本的な考えと施策の概要について述べましたのでお伝えします。

①生きる力の育成と質の高い教育の推進

国では「学力」を「①知識及び技能」「②思考力・判断力・表現力等」「③学びに向かう力・人間性等」の三つの資質・能力としています。

九戸小学校の開校を機に、これまでの一斉授業だけでなく、子どもたちが自身が「主体的に」学び「協働」することでさらに深く学んでいくことができる具体的な取り組みを現場の先生方との認識を共有しながら積極的に導入してまいります。

ます。

また、小中高12年間の学びを保障するための見通しを持った「小中高連携学力向上サポート事業」の一層の充実を図るとともに、授業改善プランの実践やICT活用研修を進め、子どもの「学ぶ力」とともに、教員の資質能力の向上にも取り組み、さらに、就学前の保育園段階において、小学校以降の学校教育につながるよう幼・保・小の滑らかな接続を推進してまいります。

②持続可能で良質な教育環境の整備

いよいよ4月に、5つの小学校が統合した「九戸村立九戸小学校」の開校を迎えます。

これで「持続可能で良質な教育環境の整備に関する指針」に掲げ



▲統合へ向けて九戸小学校校歌を歌う会を行いました

た、一つの目標を達成することになります。もう一つの目標である「小中学校の再編」について、本格的に進めていく段階に移らなければなりません。

教育委員会においては、あらためて「小中一貫校」と「義務教育学校」という2つの教育環境について比較検討を行ったうえで、早期に再編構想案をまとめ、地域への説明に新年度の早い段階で入っていかねばならないと考えております。

指針で目途として示した令和11年4月の開校とした場合、令和8

から、必要な支援が届けられていない可能性を踏まえ、ニーズの把握に努めるとともに、必要な支援策を講じていきたいと考えております。

④学校と地域の連携・協働の推進

九戸小学校と九戸中学校に地域学校協働活動推進員を配置することにより、地域と学校を結び付け、地域と学校が協働して子ども達の9年間の成長を見守り支える体制づくりを進めるとともに、小中学校の学校運営協議会を中心に、コミュニティスクールの取組みを充実させ、地域の方々や保護者が積極的に学校運営に参画しながら課題の解決にも取り組んでいく「地域と学校の協働」を推進してまいります。

⑤生涯学習活動の充実

教育委員会ではこれまで、老若男女を問わずだれでも気軽に参加できる学びの場の提供に努めてまいりました。

女性教室に関しては、参加者の



▲遺跡国史跡指定記念「黒山の昔穴遺跡・関連遺跡」展

固定化の解消と男女協働参画の観点から、これを生涯学習アカデミーと統合して一つの事業とし、村民の学習意欲に応えていきたいと考えております。

九曜塾に関しては、貴重な体験活動の場であり、世代間交流の貴重な機会にもなっておりますので引き続き自由な発想で多様な活動を展開してまいります。

⑥地域の歴史・文化・芸術の継承と振興

昨年度は、「黒山の昔穴遺跡」の文化財価値が高く評価され、国の史跡に指定されました。この指定を受けまして、令和7年度に

は「保存計画策定委員会」を立ち上げ、黒山の昔穴遺跡の保存活用計画の策定に向けた作業に入っており遺跡への進入路や管理用道路など将来の管理計画に活用するため、指定地を含んだ周辺の地形測量を実施する計画としております。

あわせて、村や県指定の史跡、天然記念物や、有形・無形文化財の継承、その中でも特に神楽をはじめとする郷土芸能は、連綿と受け継がれてきた地域の宝でありますから郷土芸能保存団体の発表機会の提供と、次代に引き継いでいく活動を支援してまいりたいと考えております。

また、令和3年度から編纂作業を再開して資料の収集や整理を進めてきました「九戸村史」につきましては、準備を整え早期の発行を目指してまいります。

さらに、芸術振興に関して、本村は村政施行70周年を記念して、近隣市町と連携して東京多摩

年の第3四半期には、国に対して補助事業の認定申請・交付申請を行う必要があると考えていますので、九戸小学校が開校した後は、小中学校の再編が教育委員会の「一丁目一番地」の行政課題であるということ強く意識し、指針の実現に努力してまいります。

③多様な教育ニーズに対応した教育機能の充実

一人ひとりの生活や学習上の困難を改善又は克服するため、特別支援教育支援員の適切な配置を進めるとともに資質向上を図り、教育相談体制と支援体制の充実を進めてまいります。

さらに、学校不応児童の学びを確保するため教育支援センターの設置を検討し、誰ひとり取り残さない教育の具現化を進めたいと考えております。

また他市町村の特別支援学校に通学している児童生徒において、村内の学校に在籍していないこと

交響楽団の演奏会を誘致する計画としております。また、川向自治会が長年行ってきた「お寺寄席」が記念すべき20回目となることから、広く村民の皆さまに日本古来の大衆芸能に触れる機会を提供したいと考えております。

⑦部活動の地域移行とスポーツ振興

休日の部活動の地域移行については地域スポーツクラブの設立も視野に入れながら将来の地域の受け皿について具体的な検討を進めたいと考えており、そうしたことから、「九戸村部活動地域移行推進委員会」を立ち上げましたので、この委員会を中心に将来の地域部活動の在り方について検討を進めてまいります。

また、閉校となる小学校の屋内運動場等につきましては、当面、教育委員会が管理することとして、スポーツ少年団や九戸中学校の部活動、村内競技団体のスポーツ活動の場として提供していきたいと考えております。

主要施策【一般会計】

事業名	事業内容	予算額(万円)
村道新設改良事業	村道の改良舗装工事など	27,145
橋梁長寿命化修繕事業	橋梁長寿命化補修工事など	11,006
農業生産基盤整備事業	農業の生産基盤となる圃場、水路などの整備に対する補助	1,309
集落生活基盤環境整備事業	地域や複数の受益者で維持管理している道路や水路の生活基盤施設等の整備	5,000
消防団準中型自動車免許等取得費補助事業	消防団員の準中型自動車免許等の取得を助成する	208
地域農業計画支援事業	花卉や野菜、葉たばこ等に対する作業機や新植苗等に対する補助	2,563
デマンド交通運行事業	デマンド交通を導入し地域公共交通を整備する	2,761
地域おこし事業	地域おこし協力隊活動や地域おこし派遣元企業に対する負担金	7,250

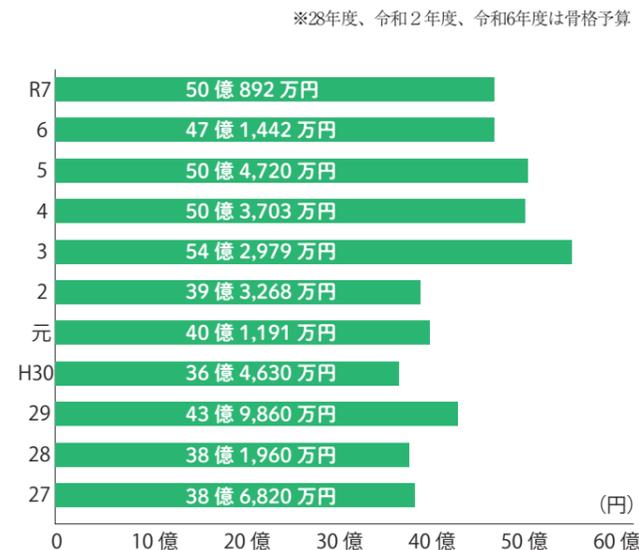
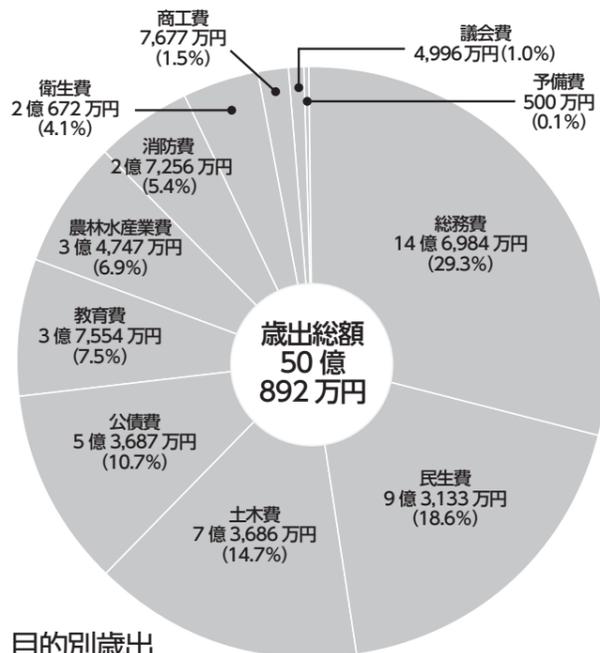
各会計別の予算と伸び率

会計名	令和7年度	令和6年度	伸び率
一般会計	50億892万円	47億1,442万円	6.2% ↗
特別会計			
国民健康保険	7億5,689万円	6億7,275万円	12.5% ↗
後期高齢者医療	8,523万円	8,101万円	5.2% ↗
索道事業	1,600万円	1,636万円	2.2% ↘
戸田財産区	694万円	577万円	11.2% ↗
伊保内財産区	624万円	703万円	11.2% ↘
江刺家財産区	484万円	497万円	14.3% ↘
水道事業	1億4,130万円	1億4,932万円	5.4% ↘
下水道事業	2億256万円	1億7,634万円	14.9% ↗
合計	62億2,892万円	58億2,797万円	6.9% ↗

水道事業・下水道事業会計予算の内訳

会計名	収益的収入と支出 (1年間の損益取引)		資本的収入と支出 (投下資本の増減に関する取引)		備考
	収入	支出	収入	支出	
水道事業会計	1億4,130万円	1億4,130万円	1,393万円	5,282万円	資本的収入が資本的支出に対し不足する額3,889万円は当年度分損益勘定留保資金等で補てんします。
下水道事業会計	3億964万円	2億256万円	3,081万円	1億3,371万円	資本的収入が資本的支出に対し不足する額1億290万円は当年度分損益勘定留保資金等で補てんします。

一般会計予算の推移



令和7年度 当初予算 50億892万円

一般会計 前年度比6.2%増

令和7年度の一般会計当初予算は、昨年度当初予算を2億9,450万円(6.2%)上回る、50億892万円となりました。また、一般会計に特別会計や公営企業会計を加えた総予算は62億2,892万円で、昨年度より4億95万円(6.9%)増加しました。

歳入 交付税が全体の49%

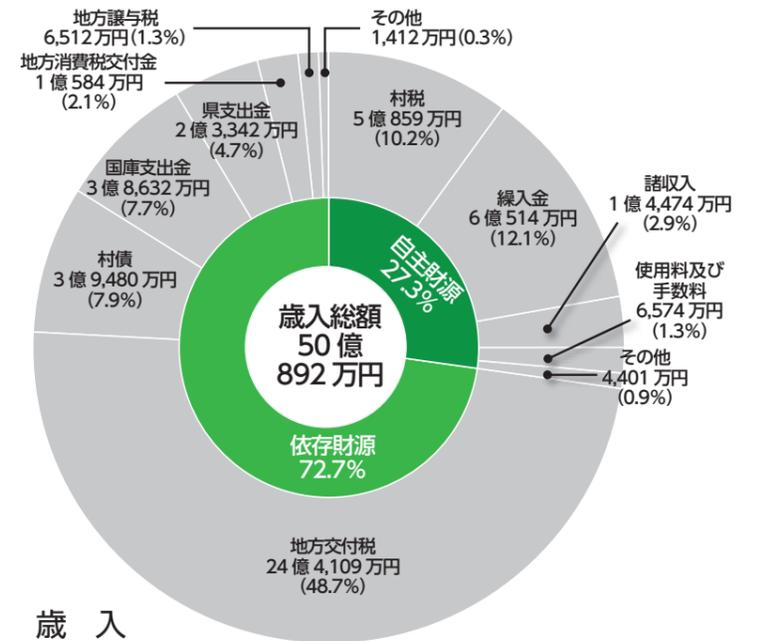
一般会計予算の歳入では、地方交付税が24億4,109万円で全体の48.7%(昨年度比1.2%増)を占めてトップ。次いで繰入金、村税、村債と続きます。自主財源は、昨年度を3億9,234万円(40.2%)上回る13億6,822万円。村税は2,298万円(0.5%)増となりました。依存財源は、前年度より9,784万円(2.6%)減少しました。

一般会計当初予算額

50億892万円

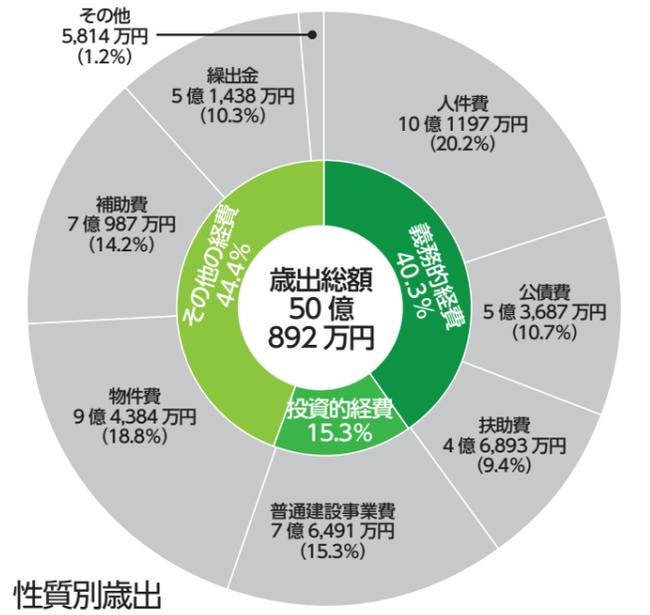
村民一人当たり換算

- 予算額 988,928円 (前年度904,879円)
 - 借金(村債)残高 1,024,880円 (前年度1,052,100円)
- ※数値は一般会計。人口は5,065人(令和7年3月1日現在住民基本台帳人口)、村債は令和7年度末残高見込みで計算。



歳出 総務費29%でトップ

歳出を性質別に見ると、人件費や公債費、扶助費を合わせた義務的経費が前年度より47%増の20億1,777万円。これにその他の経費を加えた一般行政経費は42億4,401万円となり、前年度より8.0%増加しました。投資的経費は前年度より2,108万円少ない、7億6,491万円となりました。目的別では、総務費(住民サービスや一般事務経費)が14億6,984万円となり、全体の29.3%でトップ。次いで、民生費(福祉対策や保育園などの経費)が9億3,133万円(全体の18.6%)、土木費(道路や住宅、公共施設の整備などの経費)が7億3,686万円(全体の14.7%)などとなっています。



※端数処理をしているため、合計額と一致しない場合があります。

いわて県北クリーン(株)が実施 家庭ごみ受入無料大感謝祭が大盛況



持ち込まれた大型ゴミ

3月17日から22日にかけて、いわて県北クリーン株式会社、村民を対象に大型家庭ごみの無料受入を実施しました。これは、村に産業廃棄物処理施設を有する同社が、地元への感謝を込めて毎年行っているもので、今年は6日間で732台の持ち込みがありました。利用者からは「困っていたので助かる」「村内にこういった施設があつて良かった」といった声が聞かれました。

見守ってくれてありがとう 山根小・スクールガード感謝の会

3月18日、山根小学校でスクールガード感謝の会を行いました。この会は、スクールガードへの感謝の気持ちを伝えるため開かれ、これまで児童の登下校を見守ってくれた田澤忠雄さん、川戸茂男



スクールガードの皆さんと
囲む児童たち

さん、館孝一さん、山本正さんが出席しました。館朝陽さんは「暑くても寒くても、みんなの安全を守ってくれてありがとうございます。ありがとうございます。安心して登校できました」と感謝状を手渡しました。

(株)九戸村総合公社 事業化育成資金の認定を受ける

2月26日、盛岡市産学官連携研究センターで第22回リエゾン―I研究開発事業育成資金贈呈式が行われました。リエゾン―I(いわて産学連携推進協議会)とは、大学等が有する新たな技術



村総合公社岩澤店舗主任(左) 大久保村長(中央) 岩手生物工学研究センター矢野研究部長(右)

と企業が有する技術開発・商品開発のニーズをマッチングさせることにより、企業の技術・商品の付加価値、新たなビジネス等を支援していくことを目的に設立されたものです。今回、村総合公社が岩手生物工学研究センターと共同研究を進めている新規機能性代用甘味料「甘茶エキス」と「くのへ甘茶のど飴」の開発商品化に向けた計画が、研究開発事業化育成資金の認定を受け、育成資金として100万円の贈呈を受けました。この育成資金を活用して、事業化に向けた更なる研究開発を行う予定です。

バレー県中学生選手権 九戸中学校女子バレー部優勝

3月15日から16日の2日間、花巻市総合体育館で岩手県中学生選手権が開催され、二戸地区予選を勝ち抜いた九戸中学校男子バレー部と女子バレー部が出場しました。初日、1回戦を勝ち進んだ男子バレー部は2回戦で惜しくも敗退。女子バレー部は、1日目で1セットも落とさな



①優勝を手にした女子バレー部 ②作戦を練る男子バレー部

協力隊佐藤さん・企画展 食にまつわる九戸の記録と記憶

3月12日から3月22日の11日間、ふるさと創造館にて企画展「食べるを温めて新しきを知るー食にまつわる九戸の記録と記憶」が開催されました。村に伝わる郷土食11品についての写真や実物をもとに解説するほか、九戸村生活改善グループ連絡研究会の活動記録の紹介を展示しました。主催の九戸村地域おこし協力隊佐藤さんは「様々な方に展示を見てもらえてよかった。今後も機会をみつけて開催したい」と話しました。



① 食にまつわる九戸の記録と記憶の展示 ② 郷土食の展示 ③ 食にまつわる九戸の記録と記憶の展示 ④ 郷土食の展示 ⑤ 郷土食の展示 ⑥ 郷土食の展示 ⑦ 郷土食の展示 ⑧ 郷土食の展示 ⑨ 郷土食の展示 ⑩ 郷土食の展示 ⑪ 郷土食の展示

大船渡市へ 九戸中学校で義援金募る

3月12日、九戸中学校で大船渡市林野火災災害義援金贈呈式を行いました。贈呈式では生徒会執行部小野家勲さん(3年)から九戸村社会福祉協議会日向和彦会長へ義援金が手渡されました。



① 社会福祉協議会日向会長(左) 生徒会執行部小野家勲さん

村の歴史を懐かしむ 岩手銀行伊保内支店で「九戸村の歩み」展



写真を見て昔の話で盛り上がるお客さん

3月9日から3月31日までの間、岩手銀行伊保内支店で「九戸村の歩み」展を行いました。

これは、伊保内小学校閉校記念式典の際に九戸村昭和初期から現在までの写真等が展示されたもの

ので、式典後も住民の方に見てほしいと、岩手銀行伊保内支店で展示を行いました。

展示を見に来た岩部京子さんは「知っている先輩が載っていて懐かしい」と思い出に浸りました。

瀬月内自治会で 研修会を行いました

2月23日、久慈市山形町平庭山荘にて瀬月内自治会が自治会メンバーを対象に研修会を行いました。

14人が参加したこの研修会は、女性の社会での活躍を目的として行われ、講師にKUNOHE木工女子

部を招き「地域財源を活かした活動事例」と題して林業・未利用材の活用・活動実績などについての講演をいただきました。

その後、参加者で会食を行い、地域で交流を図りました。



研修会に臨む参加者

地域づくりを担う 令和6年度村づくり推進のつどい

3月16日、HOZホールで令和6年度村づくり推進のつどいが開催されました。

主催する九戸村民憲章推進実践協議会の上村勝己会長のあいさつの後、今年度の花いっぱいコンクールに入賞した丸木橋実践区、細屋実践区、宇堂口実践区の3団体と山下美佳さんに賞状が手渡されました。宇堂口実践区会長の山口

忠一さんから、地域の花壇づくりの取り組みなどについて事例発表が行われ、講演では「地域資源を活かした活動事例」と題して、村内で森林資源の活用に取り組んでいるKUNOHE木工女子部の上野早紀さん、福島多恵さん、水上千文さんの3人の講師から、実際の活動内容や九戸村の魅力が語られました。

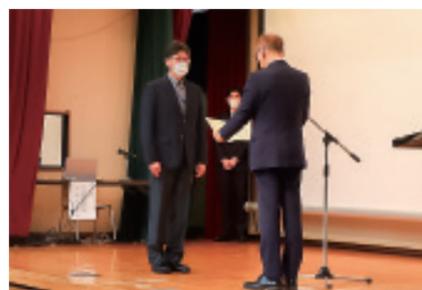


①宇堂口実践区会長山口さん
②KUNOHE 木工女子部のみなさん

優良生産者・農家を表彰 令和6年度農業生産者の集い

2月26日、HOZホール（九戸村公民館）で令和6年度九戸村農業生産者の集いが行われました。

表彰者15人が出席したこの集いでは、令和6年度農業生産状況報告が行われ、参加者は村主要作物の生育経過についての報告を受けました。また、村と農業協同組合が生産拡大を奨励している農産物について、褒賞が授与されました。その後、岩手県農林水産部農業普及技術課長の中森忠義氏より野



①村長表彰農畜産物総合優秀賞(有)大崎農場
②同じく野菜総合優秀賞松澤浩二さん

表彰・消防庁長官表彰 山根小少年消防クラブ30年の功績が讃えられる

3月17日、山根小学校で少年消防クラブ解散式が行われました。平成6年から発足した当消防クラブは、活動30年目となる令和6年度で小学校閉校に伴い解散をする運びとなりました。

式では、二戸地区幼少年婦人防火委員会委員長深田泰之さんから労いの言葉が送られたほか、児童を代表して田澤拓人さんから、九戸村消防団第十分団分団長和田伸一さんへまといの移管を行いました。

児童代表の田澤拓人さんは「操法や夜回りなどこれまで学んだことをもとに、今後は一人ひとりが防火活動を頑張ります」と呼

び掛け、最後に全校で防火の誓いを読み上げました。

また、3月20日には、東京都千代田区のイイノホールで、令和6年度優良少年消防クラブ・指導者表彰式が開催され、同クラブが、優良な少年消防クラブ（消防庁長官賞）を受賞し有終の美を飾りました。



表彰式の様子



解散式で最後にみんなで記念撮影



児童代表の田澤拓人さんと田澤歩夢さん

地域林政アドバイザー を設置します！

地域林政アドバイザー

長尾 瑠久良さん



よろしく願います！

■地域林政アドバイザー制度とは

地域林政アドバイザー制度とは、市町村が森林・林業に関して知識や経験を有する者を雇用することを通じて、市町村の森林・林業行政の体制支援を図る林野庁の仕組みで、雇用の経費が特別交付税により措置されるものです。

令和7年度より、元地域おこし協力隊の長尾瑠久良さんが、九戸村としては初となる地域林政アドバイザーとして、産業振興課林業振興係に配属となりました。

■従事する業務

森林経営管理制度、木の駅、伐採届、緑化推進等

■森林に係る相談窓口の設置

「自己所有林の場所や境界を調べたい」、「森林の現況について知りたい」、「今後の管理方針について相談したい」等、森林に係る様々な相談を受け付けます。

相談は予約が必要ですので、下記までご連絡ください。

産業振興課林業振興係 ☎ 0195-43-3363

■ご挨拶

令和4年度から3年間、地域おこし協力隊として自伐型林業の実践と推進を行って参りました。村民の皆さんをはじめ、講師の方々や自伐型林業班の皆さんのご協力のおかげで、非常に有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

まだまだ未熟者ですが、今後も九戸村において、林務行政の推進の一助になればと思っています。宜しくお願い致します。

NEW

「林業分野の新規補助事業」について

森林環境譲与税を活用した新規補助事業が新設となりました。詳細は別途チラシ又は九戸村ホームページをご覧ください。

💡 九戸村農林業振興対策（薪ストーブ設置）事業補助金

→薪ストーブ等の設置に対する補助

💡 九戸村農林業振興対策（環境保全型森林整備）事業補助金

→小規模な除伐や間伐等に対する補助



MY IMPRESSIONS ABOUT KUNOHE VILLAGE AND KUNOHE JUNIOR HIGH SCHOOL

I like the friendly nature of the people of Kunohe. I transitioned easily because everyone I met was very kind and helpful. I also like the teachers and the students of Kunohe Junior High School because they made me very comfortable while at school. The Principal and the Vice Principal made my first day remarkable. I am happy to be here.

私はフレンドリーな性格の九戸の人たちが好きです。出会った人たちは皆とても親切で私を助けてくれたので、スムーズに慣れることができました。また、九戸中学校の先生方と生徒たちも好きです。学校にいる間、彼らは私をとて居心地よく過ごさせてくれます。校長先生と副校長先生のおかげで、私の学校の初日は素晴らしいものになりました。ここにいられて幸せです。



チェ・アワントウさん

2月3日から、カメルーン出身のチェ・アワントウさんが九戸中学校の外国語指導助手として新しく就任しました。また、4月から九戸小学校の指導も行う予定です。

新しい外国語指導助手（ALT）
チェ・アワントウさんを紹介します！

祝 103 歳

保大木 タキ さん

大正 11 年 3 月 2 日 生まれ

季節のイベントが好きなタキさん。折爪荘の担当職員からの手紙で涙ぐむ場面もありました。この度は、おめでとうございます。



祝 103 歳

南 キヨ さん

大正 11 年 3 月 20 日 生まれ

好き嫌いなく何でも食べるキヨさん。手先が器用で針に糸を通したり、編み物をしています。この度は、おめでとうございます。



祝 99 歳

眞下 ツル さん

大正 15 年 3 月 20 日 生まれ

村からのお祝い金をお渡ししました。この度は、おめでとうございます。



今月のご長寿のお祝い

令和7年度村職員 人事異動

村職員の人事異動が4月1日付で次のとおり発令されました。(カッコ内は異動前の職名)

- 【課長級】▽会計管理者兼税務住民課長(総務課長補佐兼財政係長) **大崎篤史** ▽保健福祉課主幹兼課長補佐兼地域福祉係長兼地域包括支援センター所長(保健福祉課長補佐兼地域福祉係長) **小野寺さゆり** ▽上下水道課長(税務住民課長補佐兼国保住民係長) **下高山朋徳** ▽教育委員会事務局主幹兼次長補佐兼教育総務係長(次長補佐兼教育総務係長) **関端祐介**
- 【課長補佐級】▽総務課長補佐(総務課主査兼庶務係長) **和田沙耶香**
- ▽村づくり推進課長補佐兼定住環境係長兼子育て支援係長(産業振興課生産振興係長) **觸澤英之** ▽税務住民課長補佐兼国保住民係長(総務課

園上席主任保育士(ひめほたるこども園主任保育士) **西野啓樹** ▽ひめほたるこども園上席主任保育士(ひめほたるこども園主任保育士) **関畑梢** ▽教育委員会事務局生涯学習係長(教育委員会事務局主任) **久保太毅**

- 【主任級】▽総務課付主任・二戸地区広域行政事務組合派遣(教育委員会事務局主任) **斉藤諒** ▽総務課主任(地域整備課主任) **外久保貴之**
- ▽税務住民課主任(保健福祉課主任) **高松皇輝** ▽保健福祉課主任保健師(保健福祉課保健師) **工藤純**
- ▽保健福祉課主任(税務住民課主任) **大澤洋介** ▽伊保内保育園主任保育士(ひめほたるこども園主任保育士) **櫻庭祐子** ▽伊保内保育園主任保育士(戸田保育園保育士) **湯川愛** ▽ひめほたるこども園主任保育士(伊保内保育園主任保育士) **小野寺愛**
- ▽産業振興課主任(上下水道課主任)

- 付主幹・二戸地区広域行政事務組合派遣) **玉川光彦** ▽保健福祉課主査保健師兼保健衛生係長(保健福祉課主査保健師) **佐々木雅恵**
- ▽産業振興課長補佐兼生産振興係長(村づくり推進課定住環境係長) **中村智子** ▽地域整備課長補佐兼地域整備係長(会計管理者兼税務住民課長) **中奥達也**
- 【係長級】▽総務課財政係長(地域整備課地域整備係長) **八重樫秀昭**
- ▽総務課庶務係長(税務住民課主任) **細川猛** ▽村づくり推進課地域振興係長(保健福祉課保健衛生係長) **佐藤康輔** ▽村づくり推進課交流発信係長(村づくり推進課主任) **向井祐貴** ▽保健福祉課上席主任保健師(保健福祉課主任保健師) **横井信香** ▽伊保内保育園上席主任保育士(伊保内保育園主任保育士) **堀野恵** ▽ひめほたるこども園上席主任保育士(戸田保育園上席主任保育士) **火石直人** ▽ひめほたるこども

伊藤通仁 ▽地域整備課主任(教育委員会主事) **横井俊祐** ▽教育委員会事務局主任(税務住民課主任)

- 関口瑞紀**
- 【主事級】▽総務課主事(産業振興課主事) **石川優真** ▽総務課主事(産業振興課主事) **上宿新悟** ▽税務住民課主事(村づくり推進課主事) **関口麻輝** ▽税務住民課主事(総務課主事) **大久保匠真** ▽産業振興課主事(村づくり推進課主事) **長畑奈々花**
- 【新採用】▽村づくり推進課主事 **波岡恭也** ▽産業振興課主事 **本川耀希** ▽教育委員会事務局主事 **長澤冬幸**
- 【会計年度任用職員(役職付き)】▽総務課行政推進員 **坂下守男** ▽産業振興課農政推進員 **西野誠** ▽産業振興課農政技術員 **高橋好範** ▽上下水道課技術管理員 **大谷勝** ▽教育委員会事務局文化財管理員 **大畑英明**
- 【退職】▽ **山本拓洋** (総務課主任)

移動村長室のお知らせ

九戸村は、村民の皆様との交流を通し、住みよいむらづくりに向け語り合い、皆さまのご意見を村政に反映させたいと考えています。是非、皆様のご意見を大久保村長にお気軽にお聞かせ下さい。

■移動村長室の主なテーマ

高齢者・健康・交通、子育て・教育、防犯・防災、歴史・スポーツ、農林業・商業・地域活性化など

■開催方法

- ・開催する団体・グループの条件は、概ね5人以上の出席が見込めることとします。
- ・日時・場所・会の持ち方等については、申し込み団体と担当課で相談をして決定します。

■申込方法

FAX 0195-41-1005 mail : soumu@vill.kunohe.iwate.jp

郵送の場合 〒028-6502 九戸村大字伊保内10-11-6 役場総務課 宛

■問い合わせ 九戸村役場総務課庶務係 ☎0195-43-3365



令和7年4月1日より役場の開庁時間を変更します

役場の組織機能を改善・向上させるため、窓口の開庁時間を令和7年4月1日(火)から変更します。

■開庁時間の変更

【変更前】午前8時30分から午後5時30分まで

【変更後】午前8時30分から午後5時15分まで

■職員の勤務時間について

夕方15分の窓口延長に対応するためシフト制で勤務しておりましたが、今後は開庁時間と同じ勤務時間になります。

■窓口延長について

住民サービスを維持するため、午後5時までに電話予約をしていただきますと、午後7時まで窓口業務の延長を行います。





「春」は「冬」に次いで体調不良を感じる季節です！

季節の変わり目にご注意を

春は昼夜の寒暖差や気圧変動が大きい季節で、「頭痛」「眠気」「だるい」などの症状を感じる場合があります。これは自律神経の乱れが関係しています。

■自律神経とは？

交感神経と副交感神経の2つの神経がバランスをとって身体を調節しています。

○交感神経

活動している時や緊張している時、ストレスを感じている時に働きます。心身を活発にする神経です。

○副交感神経

眠っている時やリラックスしている時に働きます。心身を休めて回復させる神経です。

■春の不調の要因

1. 激しい寒暖差（寒暖差に対応するために交感神経が活発に

なる）

2. 気圧の変化（低気圧の影響から眠気やだるさを感じる）

3. 日照時間の変化（日が長くなり生活リズムの崩れる）

4. 生活環境の変化（進学、就職、転職など）

5. 花粉症（花粉から身体を守ろうと免疫機能が過剰になる）

■予防・対策

1. 「食事は欠食なく、バランスよく摂る」

欠食や偏った食事は自律神経のバランスを乱します。

2. 「身体を動かす」
ウォーキングなどの有酸素運

動が効果的です。

3. 「湯船につかる」

副交感神経が働き自律神経のバランスを整えます。

4. 「睡眠をしっかり取る」

就寝前に目元や首元を温めると、睡眠の質も良くなり効果的です。

5. 「衣服で温度調節をする」

温度変化に身体を適応させるために衣類で調整しましょう。

6. 「花粉症対策をする」

外出時は眼鏡やマスク、帽子を着用する。症状が強い方は、薬を服用することで症状が軽減します。

認知症予防に役立つウォーキング

「インターバル速歩」をやってみましょう！

雪が溶け始め、外に出る機会も多くなる4月。暖かくなるとお散歩をする方も多いと思いますが、せっかく歩くなら、認知症予防に効果的な歩き方をしてみませんか？

認知症を防ぐなら、いつもと違う体と頭の使い方が必要

認知症予防には、「脳の最高司令部」である前頭葉を刺激することが必要です。それには、「二つのことを同時にする」こと、「慣れないことをする」ことがポイントになります。

インターバル速歩のやり方

早歩きとゆっくり歩きを交互に繰り返す歩き方です。常に次の動作やペースを意識しながら歩くので、前頭葉がいつも刺激されています。また、歩く速さが変わるたび、筋肉からの強弱の刺激が脳に送られ、脳全体を活性化します。

「さっさか歩き」

できるだけ早く、大股で。ややきつく感じるくらいのペースを3分。



「ゆっくり歩き」

無理のない歩幅で。呼吸の乱れが整うくらいのペースをキープして3分。



3分間の「さっさか歩き」と3分間の「ゆっくり歩き」を1セットとし、1日5セット以上、週4日以上を目標にします。

1日の「さっさか歩き」の合計が15分になればよいので、朝・昼・夜とこまめに分けて実施しても大丈夫です。1週間で考えると、「さっさか歩き」の合計が60分以上になればよいので、平日に時間が取れない場合は土曜日に早歩き30分、日曜日に早歩き30分を行っても良いとされています。

しりとりウォーキング

ウォーキングをするときに、頭の中で「しりとり」をします。「歩く」と「考える」という二つのことを同時に行うことで前頭葉を刺激し、記憶力を向上させたり、会話をするとき言葉がスムーズに出やすくなる効果もあります。

運動をしないと筋肉が縮んで固まってしまいます。膝痛や腰痛が日常的にある場合も、無理のない範囲で、できる限り実施してみましょう。痛みが悪化する場合はしばらく休む、スピードや頻度を落とす、時間を短くするなどして対応しましょう。

休日当番医 (9:00~17:00)

4/13	よこもり眼科クリニック	☎ 22-2230
4/20	千葉耳鼻咽喉科医院	☎ 26-8133
4/27	かわさきクリニック	☎ 26-9900
4/29	松井内科医院	☎ 33-2201
5/3	おりそ内科循環器クリニック	☎ 22-2251
5/4	管整形外科皮膚科クリニック	☎ 23-7311
5/5	金田一診療所	☎ 27-2205
5/6	いちのへ内科クリニック	☎ 33-2701

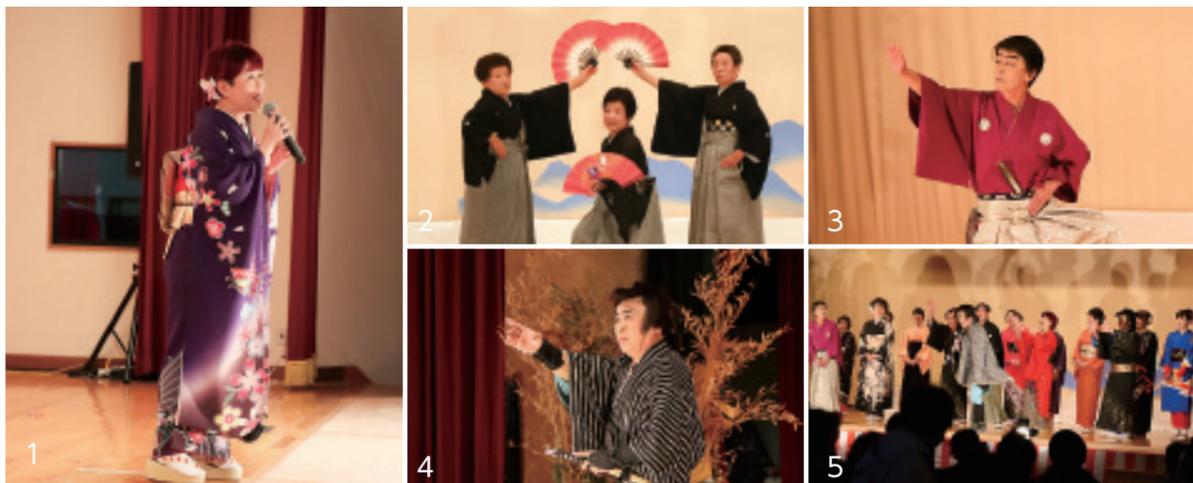
休日当番歯科医 (9:00~12:00)

4/13	菅歯科	☎ 23-5161
4/20	菅原歯科医院	☎ 27-3301
4/27	國香歯科医院 (石切所)	☎ 23-2764
4/29	菅原歯科クリニック	☎ 23-1180
5/3	小野寺歯科医院	☎ 33-3050
5/4	みさわ歯科医院	☎ 43-3115
5/5	沢藤歯科医院	☎ 25-4002
5/6	右門歯科クリニック	☎ 38-2288

4年ぶりの開催！舞踊発表会

3月2日、九戸村公民館開発ホールにて舞踊発表会（九戸村舞踊研究会主催）が開催されました。ゲストに下田清美氏、中村美由紀氏、佐野よりこ氏を迎え、実に4年ぶりとなる開催に、観客も大いに楽しんでおり、発表の最中にはたくさんのお花がステージ上に届けられていました。

次年度は舞踊研究会の50周年を迎える節目の年であり、今後の活躍にも期待が持てる素晴らしい発表会となりました。



1_ゲストの佐野よりこさん 2_左から屋形場ヨシさん、木村規子さん、小野寺カツエさん「古城」
3_尾友勝則さん「南部蝉しぐれ」 4_大崎里志さん「赤城山」 5_最後には出演者がステージで挨拶

「学び処ないんずカフェ」

令和7年度がスタート！

◆◆ NINES CAFE ◆◆
学び処
ないんずカフェだより

5月以降に開催予定の「ないんずカフェ」各種講座をご紹介します

お友達やご近所さんを誘って、気になる講座を受講してみませんか？

皆さまからのお申し込みをお待ちしております。

（開催日と内容は変更の可能性がございます。また、開催する際には事前に全戸配布で募集チラシ兼申込書をお届けします。下記以外の講座については別途お知らせします。）

◆九曜塾（村内小中学生対象）



開催日	講座内容
5月17日（土）	開講式 木炭の学習「木炭生産体験・木炭アート」 （講師：七戸産業 様）
6月28日（土）	森林学習「遊歩道トレッキング」 （講師：地域おこし協力隊 山本 幸大 様）

◆ラーニング講座（対象者指定なし）

講座名	開催日時（場所）
書道教室 （講師：川又和子 様）	5月27日（火）、6月24日（火） ※時間は各日18：30～19：30 （山村開発センター1階研修室）



教育委員会生涯学習係 ☎ 43-3382（直通）

令和6年度九戸村文化協会表彰

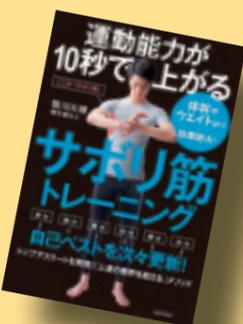
2月28日、岩手県立伊保内高等学校にて、九戸村文化協会表彰が行われました。

伊保内高校からは中村凜さんと岩手県立伊保内高等学校郷土芸能委員会が芸術文化奨励賞を受賞しました。

続いて3月12日には九戸中学校においても同表彰が行われ、小笠原葵さんと九戸中学校特設合唱部が同じく芸術文化奨励賞を受賞しました。



表彰状を受け取る伊高生、中村さん①と九戸中特設合唱部②



おすすめ //

■運動能力が10秒で上がる
サボリ筋トレーニング
笹川 大瑛・著（KADOKAWA）

運動能力アップに直結する重要な筋肉なのにサボりがちな筋肉＝サボリ筋。そこを鍛える全く新しいトレーニングです。理学療法士である著者が写真を使い分かりやすく説明。



おすすめ //

■富士山
平野 啓一郎・著（新潮社）

あり得たかもしれない人生の中で、なぜこの人生だったのか？ ささやかな出来事が人生を変える5つのストーリー。自分の人生を愛し、誰かを愛するための小説。



おすすめ //

■青嵐の旅人 上・下
天童 荒太・著（毎日新聞出版）

激動の幕の伊予松山藩。戦を嫌う娘ヒスイ、医学の道で人を助ける救吉、若き武士の辰之進。霊泉の湧く故郷を守るために、若者たちが立ち上がる。

図書だより

令和6年度定期監査の結果

1. 監査対象

総務課、村づくり推進課、税務住民課、保健福祉課、産業振興課、地域整備課、上下水道課（水道事業所）、教育委員会事務局（中学校を含む）、農業委員会事務局、議会事務局、選挙管理委員会事務局

2. 監査期間 令和7年1月27日～2月6日

3. 監査の範囲および方法

今回の監査は、全会計および基金の事務・事業を対象とし、令和6年4月1日から令和6年12月28日までに執行された財務などに関する事務について、監査対象機関から提出された監査資料および監査対象の簿冊などの内容を審査し、事務の執行が法令などの定めに従って適正に行われているか、また、財務に関する事務の執行および経営に係る事業の管理が法令などの定めに従って適正に行われているかどうかについて、関係書類を調査するとともに、担当職員から説明を求めるなどの方法により実施した。

4. 監査資料

- ① 予算執行状況（歳入・歳出）
- ② 未収金調書（滞納繰越分）
- ③ 契約事項調書（物品・備品）
- ④ 工事執行状況 / ⑤ 主な事業状況
- ⑥ 調定処理簿 / ⑦ 収納簿（滞納整理簿含む）
- ⑧ 不納欠損処理簿
- ⑨ 債権残高調書（基金運用状況含む）
- ⑩ 備品管理台帳 / ⑪ 財産管理台帳
- ⑫ 出勤状況が分かる資料
- ⑬ 休暇処理状況が分かる資料
- ⑭ 時間外勤務状況が分かる資料
- ⑮ その他

5. 監査の結果

全会計における予算の執行状況および主要な事業の執行状況ならびに補助金などの執行状況については、所期の成果を挙げるべく効果的な事務処理に努めていると認められた。

また、監査対象の事務などについては、法令などの定めに従って適正に処理されているものと認められた。（※なお、会計別執行状況および基金運用状況は、役場前掲示板に掲示しています）

山火事警戒宣言の発令

『ふるさとの 山を守ろう 火の手から』

3月1日から5月31日までは山火事防止運動月間です。2月27日から山火事警戒宣言が発令され、改めて県民1人1人に注意を喚起し、山火事防止の徹底を図っております。山火事の多くが、火の取り扱いの不注意から発生しています。山火事の危険性を十分認識していただき、特に、強風時や乾燥時には火入れや野焼きなど火の使用は絶対に行わないなど、恐ろしい山火事の防止にご協力をお願いします。

■山火事防止運動重点事項

- ・火入れを行う際は、市町村長の許可を必ず得ること
- ・たき火、野焼き、火入れをするときは、消防署に届け出ること
- ・強風時及び乾燥時には、たき火、野焼き、火入れしないこと
- ・燃え広がりやすい枯れ草等のある場所では、たき火、野焼きをしないこと
- ・たき火や野焼きの場所を離れるときは、完全に消火すること
- ・たき火や野焼きは一人で行わず、水など消火の備えをすること（森林の周囲1kmの範囲内での寄せ焼きや筋焼きによる野焼きは、火入れとみなされること）
- ・たばこは、指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消し、投げ捨てないこと
- ・火遊びはしないこと

ウルシの木を探しています

二戸市では、漆掻き職人の養成等に必要となるウルシの樹液を採取するためのウルシの木を探しています。ウルシの木を所有している方は、漆の郷づくり推進課にご連絡くださいますようお願いいたします。

■対象 胸高直径 約10cm以上のウルシの木（ウルシの木が近くに20本以上まとまっている場所が好ましい）

■価格 木の状況に応じて別途相談 ※1年かけて漆掻きを行います。



懐かしの味春休みおやつ会

先月の第2回おやつ会は、九戸村食生活改善推進員協議会のご協力のもと、へっちょこ団子と豆しごきを味わう会となりました。どちらもお販売しているお店が少なくなってきた郷土食。「自分では作らなくなったから久々に食べられて嬉しい！」「昔はよく食べていた。懐かしいね」とみなさんに楽しんでいただきました。



ピンクのポロシャツでおなじみ、食改さん手作りのへっちょこ団子と豆しごきは好評！とても美味しかったです、ありがとうございました。作ったことないのよね～という方やこれを機にもう一度作ってみようかな？という方も。ぜひお家の味で伝え続けてほしいです。次はドーナツがおいしいかな？おはぎもいいね！と盛り上がったので、乞うご期待！



おにぎりランチ会のお知らせ

暖かい日が多くなり、外へ出かけるのも気持ちのいい季節になってきましたね。午前中のお散歩がてら、お昼ご飯を食べにいらしてください。4月から新しく九戸村にいらした方も大歓迎！みなさんの参加申込をお待ちしています。



んだなす ランチ会 おにぎり編

- 日時 令和7年 4月17日(木) 令和7年 5月1日(木) 12:00～14:00
- 費用 大人 200円、高校生以下無料
- 申込 食数把握のため事前申込をお願いします。んだ・なす内の申込用紙を記入、もしくは協力隊工藤までお知らせください。おにぎりの具、お漬物など持ち寄り大歓迎！

んだなす SNS はこちら



協力隊メンバーが当番制でブログ更新をしています。こちらはアカウント登録不要でどなたでも読むことができます！



協力隊ブログ 「そう、九戸村」



本棚にある本は村内外からの寄付で集まったものです。借りるとき返すときの手続きはありません。小説、児童書、漫画、レシピ本など様々なジャンルを揃えています。手前に写っているウサギとコアラは子どもたちに大人気の遊具。もちろんちゃんと動きます！

んだなす通信

4月号 2025.4.2

【制作】 九戸村地域おこし協力隊 くら

伊保内商店街 お休み処 んだ・なす 開所時間 平日 9:30～18:00



んだ・なすつてこんなところ

「んだ・なす」で色々やらせてもらって1年が経ちました。この通信も2年目、今年度も広報のページをお借りして九戸村の皆様へお届けできることになりました。改めてよろしくお願ひします。 「んだ・なす」は日中は商店街での買い物や用事の休憩、バス待ちなどで利用される方が多く、夕方からは学校終わりの小中高生で賑わいます。小学生のみならず、学校での出来事や最近の流行についてたくさん教えてくれるのでとても楽しいです。新しく九戸小学校へ通うことになる伊保内地区以外のみなさんも遊びに来てみてくださいね。

■九戸村共同募金委員会 ☎0195-41-1200

【募集】地域福祉活動費の一部を助成します

村共同募金委員会では、皆さんから協力いただいた赤い羽根共同募金を基に、さまざまな福祉事業を展開しています。

そこで、令和7年度の赤い羽根共同募金を基に、翌年令和8年度に実施を予定している村内福祉活動実施団体に活動費の一部を助成します。

■対象団体 地域福祉活動実施団体
(各種福祉団体、自治会、町内会、福祉施設など)

■募集締切 4月25日(金)

■助成の決定

申請後、審査委員会で審査の上、村共同募金委員会で審議され、県共同募金会で助成が決定されます。

■お申し込み・お問い合わせ

村共同募金委員会 ☎0195-41-1200

※申請用紙は村社会福祉協議会にあります。

■二戸警察署九戸駐在所 ☎0195-42-2210

春の全国交通安全運動
「てをあけて くるまにおしらせ ぼくはここ」

4月6日(日)から4月15日(火)までの10日間「春の全国交通安全運動」が展開されます。

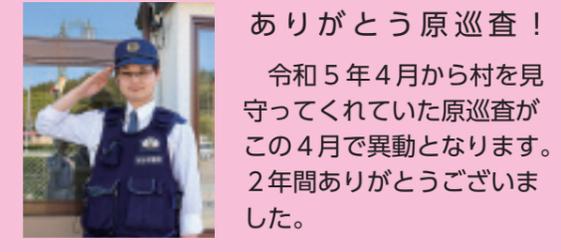
■運動重点

○子どもをはじめとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践

○歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進

○自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底

■事故に遭わない、起こさないために「止まる・見る・待つ」の交通安全行動を実践しましょう。



■九戸商業協同組合 ☎0195-42-2230

まさぎねカードが新しくなります！

現在お使いのまさぎねカード(緑)の有効期限は令和7年9月30日です。



■村保健福祉課 ☎0195-42-2114
■二戸地区広域行政事務組合介護保険推進室 ☎0195-23-7772

介護保険に係る所得段階の調整について

二戸地区広域事務組合では高齢基礎年金変更に伴い、第1号被保険者(65歳以上)の方々に不利益が生じないように、4月からの所得基準額を調整します。なお、このことによる新たな申請の必要はありません。詳細については二戸地区広域事務組合ホームページをご確認ください。

■二戸年金事務所 ☎0195-23-4111
■税務住民課国保住民係 ☎0195-43-3368

国民年金保険料は納期内に納めましょう！

令和7年度の国民年金保険料額は、月額17,510円です。保険料の納付期限は翌月末(例えば4月分は5月末まで)となっています。保険料が納め忘れの状態、万一、障害や死亡といった不測の事態が発生すると、障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられない場合があります。経済的な理由等で保険料を納付することが困難な場合には、保険料の納付が免除・猶予となる「保険料免除制度」や「納付猶予制度(50歳未満)」がありますので、二戸年金事務所または役場税務住民課にご相談ください。国民年金は、老後の生活やもしもの時の大きな支えです。きちんと納期内に納めましょう。

■税務住民課国保住民係 ☎0195-43-3368

交通事故などによるケガの治療に国民健康保険を使う際は届出が必要です

○ケガの原因が交通事故や他人の犬に咬まれたなど加害者がいる場合でも、被保険者は国民健康保険(国保)を使って治療を受けることができます。○国保を使って治療すると、その治療費は保険者(村)が一時的に立て替え払いをすることになり、治療が終わったら、その費用を加害者に対して請求することになります。

そのため、交通事故などが原因のケガで国保を使って治療した際は、速やかに保険者(村)に届け出ることが法令により義務づけられています。

交通事故などでケガをした際には、役場税務住民課国保担当まで届け出をお願いします。

【届け出のときに持ってくるもの】

- (1) 印鑑(認め印可)
- (2) 交通事故証明書(交通事故の場合)

○保険者(村)が一時的に立て替えた治療費は、本来、加害者が負担するべきものです。加害者は、保険者(村)に治療費を返還しなければなりません。

加害者から返還してもらおう分について、当事者同士で請求しない旨の示談を行ってしまうと、保険者(村)は加害者に請求できなくなり、被害者本人に思いがけない負担がかかる場合がありますので、示談する際には、十分に気をつけて示談するようにしてください。

人のうごき

(令和7年3月1日現在)

- 人口 5,065人 (-11)
- 男 2,405人 (-5)
- 女 2,660人 (-6)
- 世帯数 2,181世帯 (-6)
- (カッコ内は前月比)
- 転入 4人 (8人)
- 転出 8人 (14人)
- 出生 3人 (6人)
- 死亡 10人 (19人)

(カッコ内は1月からの累計)

■総務課庶務係 ☎0195-43-3365

春の地域安全運動の実施について

4月6日から4月15日まで、「春の地域安全運動」が実施されます。犯罪のない安全で安心な暮らしづくりのため、家庭や地域の協力をお願いします。散歩しながら、買い物しながらなど「ながら見守り」で子どもや地域の安全を守りましょう。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

今月のゴミ収集スケジュール

燃えるゴミ 燃えないゴミ あき缶
紙類・プラスチック類 粗大ゴミ

- … 瀬月内、宇堂口、泥ノ木、平内、妻の神、戸田上・下、館の下、山根、荒谷、ニツ家
- … 鹿島、伊保内上・下、川向、南田
- … 小倉、長興寺上・下、大向、五枚橋、荒田、雪屋、田代、柿の木、江刺家上・下、道地、丸木橋、山屋、細谷

編集後記

今月の閉校特集は沢山の方に協力いただき、無事に発行することができました。取材で学校をお邪魔する中で、沢山の子どものたちのきらきらとした笑顔が印象に残っています。この子どもたちの笑顔は九戸村の宝です。九戸小学校になっても村全体で子どもたちを支えていきたいですね。

4月から担当が変わります、短い間でしたがありがとうございました。(長畑)

くのへっ子

春から九戸小執行部！

河村 寧音^{ねね}さん
(11)



小4から始めたバスケ、楽しいです！

九戸小学校に通う小学6年生の寧音^{ねね}さん。

閉校前の江刺家小で取材したこの日（2月27日）は、閉校について聞きました。

最初は統合に対して不安な気持ちの寧音^{ねね}さんでしたが、『校歌を歌う会』などで他校とも交流し、少し自分から発言出来るようになりました。春から執行部なので、今は不安より楽しみの方が大きいです！

江刺家小での思い出を尋ねると「全校で江刺家神楽を踊ったこと」と振り返りました。切舞が難しかったという寧音^{ねね}さん。恥ずかしがらず大きく踊り、自分に自信がつかしました。「閉校し、最後になるのは

寂しいけれど、これまで指導して下さった地域の方に、根気強く教えて下さったことへの感謝と『新しい学校でも頑張ります』という気持ちで閉校式でも踊りたい」と意気込みました。

江刺家小の好きどころは？

みんな元気で前向き！農業体験など貴重な体験ができる！

九戸小で頑張りたいことは？

最高学年として自分から進んで何事にも取り組みたい。

将来の夢は？

犬が好きだから獣医さん。

好きな料理は？

お母さんの作ってくれたオムライス。家族みんな好きです。

家族に一言！

いつも支えてくれてありがとう！